

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(南中学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学	理科
南中	同等	上回った	下回った
埼玉県	55	50	48.3
全国	54.3	48.3	48.3

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	南中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	95.6	91.7	91.2
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	82.6	81.7	81
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	98.3	92.8	92.6
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	74.8	81	77.5
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	73.9	66.8	61.6
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	72.1	61.4	57.9
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする	6	9.8	9.6
教科への関心	国語の勉強は好きだ	53	58.5	57.9
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	92.2	89.5	88.3
	算数・数学の勉強は好きだ	66.9	53.5	53.8
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	89.5	74.3	75.2
	理科の勉強は好きだ	58.3	64.5	63.8
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	68.7	64.2	63.4
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	82.7	83	77.7
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	64.3	71.2	63
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	78.3	77.7	70.6
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	88.7	88	84.7
その他	自分には、よいところがあると思う	86.9	88	86.2
	将来の夢や目標をもっている	70.4	69.9	67.5
	人の役に立つ人間になりたいと思う	98.3	96.8	96.6
	今住んでいる地域の行事に参加している	76.5	75	75.7

公表例

【質問紙分析】

- ・ 学習時間は県平均を大きく上回っているが、テスト等の結果に結びついていない。
- ・ 学習意欲が高く、学ぶ努力もしていると思っている生徒が多い。
- ・ 将来の夢や目標を持っている生徒が県平均を大きく上回っている。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

- 「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかみる」という部分は良かった点である。
- 「文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかをみる」という部分は良かった点である。
- 「表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかをみる」という部分は良かった点である。
- 上記が比較的上回った理由としては、日頃から書く機会が多くあったためではないかと考える。例えば、毎時間の自己評価シートの記入や条件作文を実施していることにより、記述に対して抵抗なくできたのが理由ではないかと考える。【算数・数学】
- 「関数」の領域では、県や全国のどちらと比較しても、8%以上高い正答率を得た。
- 「データの活用」についても県や全国のどちらと比較しても、6%以上高い正答率を得た。
- 「数と式」の領域において、文字において説明する問題では、正答率が低く課題が見られた。
- 「図形」の領域の証明や根拠を述べる問題では、正答率が低かった。

【理科】

- 「水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する」
- 電気回路に関する「設定した【仮説】が正しい場合の実験結果の予想を選択する」
- 「直列と並列とで回路全体の抵抗が大きい装置や速く水が温まる装置を選択する」
- 「地層から水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する」

課題への取組・改善策

【国語】

- ・ 漢字の基礎基本の徹底 間違った箇所をしっかりと復習させる。
- ・ 短歌等の表現技法の知識を理解し、定期テスト等で定着させる。
- ・ 相手に自分の考えをわかりやすく伝えることができるかという点に課題があるため、授業の中で、積極的に話し合い活動をして取り入れ、自分の考え相手にわかりやすく説明する場を取り入れていく。

公表例

【算数・数学】

- ・ 2 つの課題ともに説明する力に課題が見られたため、授業展開の中で説明する場面を設ける。
- ・ 定期テストや単元テストにおいて、説明する問題を出題し、説明する力を育む。

【理科】

- ・ 単元内容の理解を深めるために、実験を多く取り入れ、実感を伴ったものとなるようにする。
- ・ 発展的な問題にも授業中で触れ、様々な見方ができるようにしていく。